

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ  
 山行計画書 (party wandering)  
 山行名：年末山行「僕らを惑わす、白い小悪魔日光白根☆」

<b>【山行名】</b> 年末山行「僕らを惑わす、白い小悪魔日光白根☆」			
<b>【日時】</b> 2006年12月26日(火)～12月31日(日) 前夜発2泊3日+予備日2日+スライド予備日1日			
<b>【目的】</b> 生活技術を高める。ラッセルの体験。雪洞の実践。			
<b>【山域】</b> 日光			
<b>【使用地形図】</b> 男体山 (1/25000)			
<b>【参加条件】</b> 2006年度冬山研究班班員及びそのOB・OGに限る			
<b>【日程】</b>			
前夜 (12/25) つくば (車) 湯元温泉			
1日目 (12/26)	湯元温泉 (4:30)	前白根山 (0:40)	五色沼避難小屋
			行動時間【5:10】
2日目 (12/27)	五色沼避難小屋 (2:00)	奥白根山 (1:30)	前白根山 (0:30)
			五色山
			(0:35) 国境平 (0:30) 金精山 (0:20) 国境平
			行動時間【5:25】
3日目 (12/28)	国境平 (3:00)	湯元温泉	
			行動時間【3:00】
4. 5日目 (12/29.30)	予備日		
<b>【現地交通機関】</b>			
東武バス日光営業所			0288-54-1138
日光交通 (タクシー/日光駅)			0288-54-1188
<b>【山小屋・避難小屋情報】</b>			
	収容人数	状況	連絡先
五色沼避難小屋	20人	通年開放 (無人)	0288-21-1178
<b>【現地气象台】</b>			
前橋地方气象台			027-231-2237

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ  
 山行計画書 (party wandering)  
 山行名：年末山行「僕らを惑わす、白い小悪魔日光白根☆」

**【荒天対策】**

入山しない、引き返す、ビバーク、停滞、避難小屋の利用、スライド予備日の利用、  
 リフトの利用 (運行時刻：平日 8:30~16:00、土曜日 8:30~17:00、日曜・祝日 8:00~17:00)  
 金精山ピストンカット (-0:50)、奥白根山ピストンカット (-3:30)  
 金精山ピストンの3日目へのスライド

**【食料計画】**

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝	個	団	団	(団)	(団)
昼	個	個	個	(個)	(個)
夕	団	団	(団)	(団)	

個：個人食料 団：団体食料 ( ) がついているものは予備食

**【団体装備】**

- テント一式 (本体、外張り、ポール)  団マット
- ガスヘッド  ガスボンベ×3  ガソリンストーブ  ホワイトガソリン×30
- 団コップフェル一式  無線機  ラジオ  天気図用紙
- スコップ×3  ゾンデ×3  ビーコン×3  スノーソー×2  たわし
- 赤旗×30  赤布適宜  竹ペグ適宜  灯油ポンプ  お茶パック適宜

**【個人装備】**

- ザック  ザックカバー  ヤッケ or 雨具  シュラフ  シュラフカバー  個マット  防寒着×2
- 着替え  帽子  目出帽  手袋×2  オーバークローブ  ロングスパッツ  新聞紙  登山靴
- サングラス  ゴーグル  日焼け止め  ヘッドランプ  ライター  巻紙  ビニール袋
- 軍手  雑巾  ポリタンク 20  個コップフェル  ナイフ  コンパス  レーション  笛
- 非常食  非常用パック  医療用パック  計画書  地形図  保険証  時計  携帯電話
- 学生証  細引き (6mm×10m)  米 合  ピッケル  アイゼン  ワカン
- 替えバンド (アイゼン、スパッツ、ワカン)  スリング (120cm)  カラビナ

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ  
山行報告書 (party wandering)

【山行名】 年末山行「僕らを惑わす、白い小悪魔日光白根☆」

【日時】 2006年12月26日(火)～12月27日(水) 前夜発1泊2日

【目的】 生活技術を高める。ラッセルの体験。雪洞の実践。

メンバー：C.L 大石 大藪 原田

[前夜 12.25 (月)]

つくば(車) 湯元温泉

天気は取り立てて問題ないと思っていたが、23日に風邪で発熱。24日には熱は下がっていたので山行を行うことにした。

[1日目 12.26 (火)]

5:00 湯元温泉

天気は雪。準備をして出発しようとする、大藪がカップを忘れたということが分かった。大藪一人をおいて二人で行くしかないか、と考えたが、近くがスキー場ということもあり、スキーウェアを借りて入山しようということになった。

！スキーウェアは通気性が無いので汗をかくと体がぬれてしまい、危険。良くない判断だった。スキーウェアを借りるために8:30まで待ったのだから、リー会員に連絡を取ってアドバイスを貰えばよかった。

8:30 スキーウェアを借りて出発。

12:00 外山分岐

14:15 前白根山の手前で幕営

歩き方になれていないせいか、時間がかかった。尾根上を行かず、夏道を行ったので、雪が多いところを通過してしまったところがあった。

ご飯を食べて、水づくりをする。寒い。

体温計をつかうと、なんと僕に熱があった。

次の日下山を決意。

二人には本当に申し訳なかったです。

[2日目 12.27 (水)]

5:00 起床。

7:30 出発

10:30 湯元温泉

反省会

原田

ラッセルは思いのほか体力を使うことが分かった。持久力に加えて筋力がある。

わかんのつめでかっぱをひっかけてしまうシーンがあった。

テント設営にもう少しなれる必要がある。

大藪

カップを忘れてしまった。反省。

ラッセルは筋力だと思っていたのだが、いざ歩いてみると持久力。まだ足りない。

登りは死にそうだった。

大石

体調管理は本当に大切だと痛感。

本当に申し訳ありませんでした。

一年生二人は、まだやはり歩きなれていないと思った。

体重移動が下手。ピッケルをうまく使っていけば、雪にはまったりする箇所を減らせるはず。

木に引っかかったりしているけど、落ち着いてよければ大丈夫。一回こけたり引っかかったりすると立て直すのにすごい体力を使うよ。